



石狩医師会の活動について

石狩医師会 会長
わがつま小児科 理事長
我妻浩治

石狩医師会は、現在、68名の会員で活動している道内で1番新しい医師会です。小さな医師会ではありますが、石狩市役所向かいの北ガスビルを活動の拠点とし、地域医療を守る活動をしています。

さて、地域医療を守る活動ですが、地域の方を対象に救急医療教室といった啓発活動や行政が行うべき厚生事業を数多く受託しています。近年は、行政からの厚生事業が増加傾向で、昨年度は担当する会員の負担につながらないように行政当局と協議を重ねました。行政当局からは財政状況が厳しいとの話が多くありましたが、石狩地区でも地域医療の崩壊を招きかねないことを説明しました。結果として救急医療について委託額が若干増額となったことは、行政当局も会員医療機関の地域医療への貢献を理解されたのではないかと思います。

一方、地域医療を担う会員向けの事業としては、学術講演会と新年会を開催しています。学術講演会は、本会では学術担当専属の理事がおり、当地区でも知識の習得や技能の向上が図れるよう講座を開催しています。昨年度は実施回数も増えました。今年1月の新年会は「札幌かに本家」で開催しました。場所の選定では、かに料理に夢中になり、会話も少なくなるのではといった心配もありましたが、おしゃべりや笑い声が続き、一息つく間もない新年会となりました。新年会は会員間の大切な交流の機会と考えています。



最後に、道内で1番新しい医師会の本会も昨年度で15周年を迎えました。記念誌作成のため、昨年度から原稿を集めておりますが、各会員も忙しく、原稿の集まりがあと一步のところまで昨年度は時間切れとなってしまいました。今年は江別三郡医師会に所属していた時に、石狩ブロックの会員で結成された石狩町医師会結成から数えて35周年になります。会員の今までの活動を記録に残し、新しいスタートを切ることが今年最初の取り組みとなりそうです。

